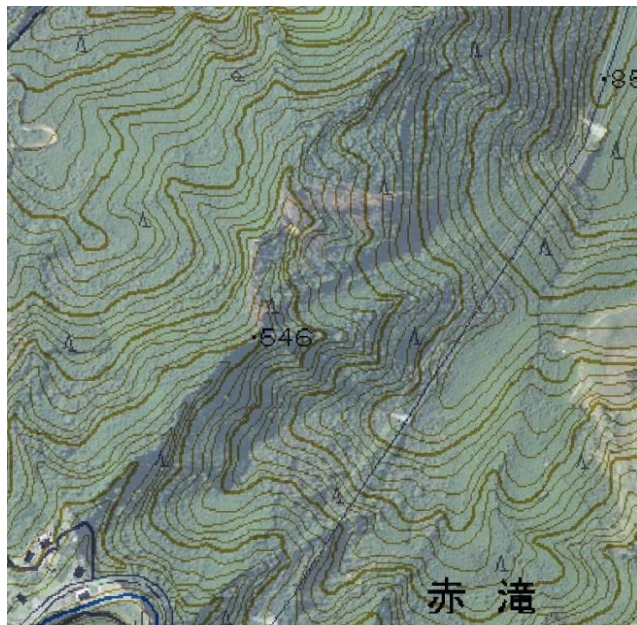


黒滝村柏原谷



柏原谷の地すべりの状況



柏原山の南方斜面に生じた地滑り面 柏原谷には谷に沿って大滝断層がある。谷の右岸には赤色頁岩の塊を主とする赤滝コンプレックス(白亜紀新世中期), 左岸には砂岩を主とする砂岩頁岩互層からなる伯母谷川コンプレックス(白亜紀新世前期)が大滝断層を境にして接している。地滑り堆積物には赤色頁岩がみられず, 砂岩を主とし, チャートや頁岩の塊がみられることから, 伯母谷川コンプレックスの地質体が滑っている。

黒滝村柏原谷



地滑り堆積物の中央部付近の上面には杉や檜の木が立っており、滑ったような跡はみられないが、幅が30～50cmの割れ目が多くみられる



地滑り堆積物からの湧水この上方に地滑りによって堰き止められた水たまりがある.

黒滝村柏原谷



地滑りによって堰きとめられ、その上方に水が溜まっている。



立った枝があり、濡れている様子から水位が低下している。上流からは谷川に多量の水が流入しているが、溜まった水は少なくなっている。濡れた部分は約25cmで、更に上方に乾いているが15cm程、水が溜まっていた痕跡がみられる。